



高大連携について

愛知県立高蔵寺高等学校長

鈴木 一 男



高大連携の事例

- 1 あいち・知と技の探究教育特区(※)
- 2 「学校の特色と地の利を生かした高・高・
大連携」
- 3 短期大学と連携した課題研究
ー短期大学の講座との連携授業についてー

(※)規制の特例措置の適用は平成16年度限り

あいち・知と技の探究教育特区

あいち・知と技の探究教育特区

「知と技の探検講座」

いざな
「知と技の探究コース」への誘い



高校在学中に大学や企業で学べます。
成果を単位認定することも可能です。

- 「知の探検講座」
8月～11月 10日間程度
- 「技の探検講座」(工業科)
8月～12月 12日間程度

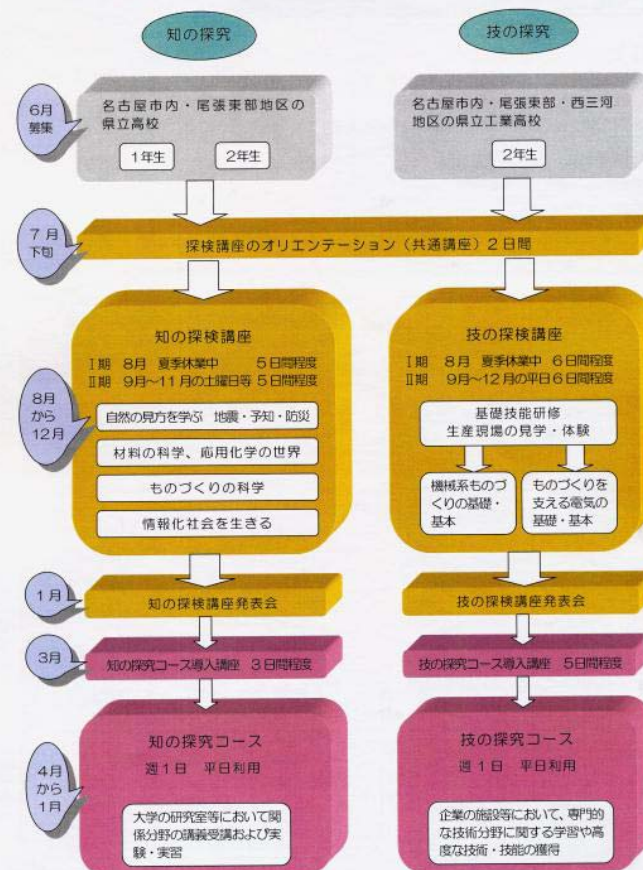
次の年には(さらに高度な内容について)大学や企業で毎週1日学ぶコースも設けます。('知の探究コース'、'技の探究コース')

意欲あふれるあなたの応募を待っています。



愛知県教育委員会

あいち・知と技の探究教育特区



あいち・知と技の探究教育特区



（「知の探検講座」に関する質問は、愛知県教育委員会高等学校教育課（Tel：052-954-6786）にお願いします。）

あいち・知と技の探究教育特区

技の探検講座

技の探検講座Ⅰ期

ものづくりに関する生産システムの見学を行い、最先端の技術・技能を体験します。

- 豊田自動織機：**産業用輸送機器（フォークリフトなど）の生産システムを見学し、溶接現場で溶接を体験し、ものづくりの厳しさとたのしさを学びます。
- デンソー技研センター：**デンソー製品全般について学習した後、自動車用メータ等の生産システムを見学し、デンソー工業技術短期大学校でロボット、PLCなど生産設備の先端技術・技能を体験します。
- 中部電力㈱：**液化天然ガスを燃料とした最新の火力発電所において極低炭素の世界などを体験し、発電・送電の施設設備について学びます。
- ㈱トーエネック：**電気エネルギーについて広く学ぶとともに、配電の施工方法や配電設備の高所作業車への乗車などの体験をします。

機械系ものづくりの基礎・基本

「豊田自動織機」、「デンソー技研センター」

機械技術分野におけるものづくりのスペシャリストを目指し、アーク溶接作業や旋盤作業について技能五輪全国大会に出場した企業の方々からの実演を交えた体験談を聞き、匠の技を見て学ぶとともに直接指導を受け技術・技能を習得します。

また、JIS溶接技術検定及び機械加工普通旋盤作業技能士の資格取得や「高校生ものづくりコンテスト全国大会」での優勝を目指します。

【技の探検講座の内容】

○ 下記の2コースのどちらかを学びます。

- 溶接作業技術・技能（豊田自動織機）
 - アーク溶接における安全作業
 - 匠の技に学ぶ（溶接機の構造、操作）
 - 匠の技に学ぶ（溶接材料、施工法）
- 旋盤作業技術・技能（デンソー技研センター）
 - 機械加工における安全作業、測定器の取り扱い、寸法精度、切削理論
 - 匠の技に学ぶ（外円切削、内径切削）
 - 匠の技に学ぶ（2級技能士の課題）



技の探検講座Ⅱ期

ものづくりを支える電気の基礎・基本

「中部電力㈱」、「㈱トーエネック」

電気技術分野におけるスペシャリストを目指し、発電、送電、配電についての最新技術を学び、シミュレーション施設・設備を利用して電力管理技術を体験します。また、電気工事作業について、技能五輪全国大会に出場した企業の方々からの実演を交えた体験談を聞き、匠の技を見て学ぶとともに指導を受け技術・技能を習得します。

電気主任技術者、電気工事士などの資格取得や「高校生ものづくりコンテスト全国大会」で優勝を目指します。

【技の探検講座の内容】

○ 下記の2つの内容を学びます。

- 電気管理技術
 - 電力の輸送技術
 - 電気系保全、回転機器の点検技術・技能
- 電気工事
 - 電気工事用工具・保護用具
 - 匠の技に学ぶ（電気設備材料）
 - 匠の技に学ぶ（電気設備の施工方法）

（「技の探検講座」に関する質問は、愛知県教育委員会高等学校教育課（Tel：052-954-6786）にお願ひします。）



愛知公立高等学校長会 教育制度部会の調査

- 1 高等学校・大学の連携に関するアンケート結果について
- 2 飛び入学に関するアンケート結果について



高等学校・大学の連携に関する アンケート結果について

- 1 調査方法
- 2 アンケート調査の対象及び回答状況
- 3 調査・研究の結果及び考察
- 4 まとめ



1 調査方法

- 愛知県下各地区から抽出した公立高等学校及び県内の大学にアンケートを依頼



2 アンケート調査の対象及び 回答状況

(1) 県内の公立高等学校50校

(県立48校、名古屋市立2校)

(普通科29校、専門学科12校、総合学科2校、普通科・専門学科併置7校)

……………回答数50校

(2) 県内の大学への調査依頼16大学

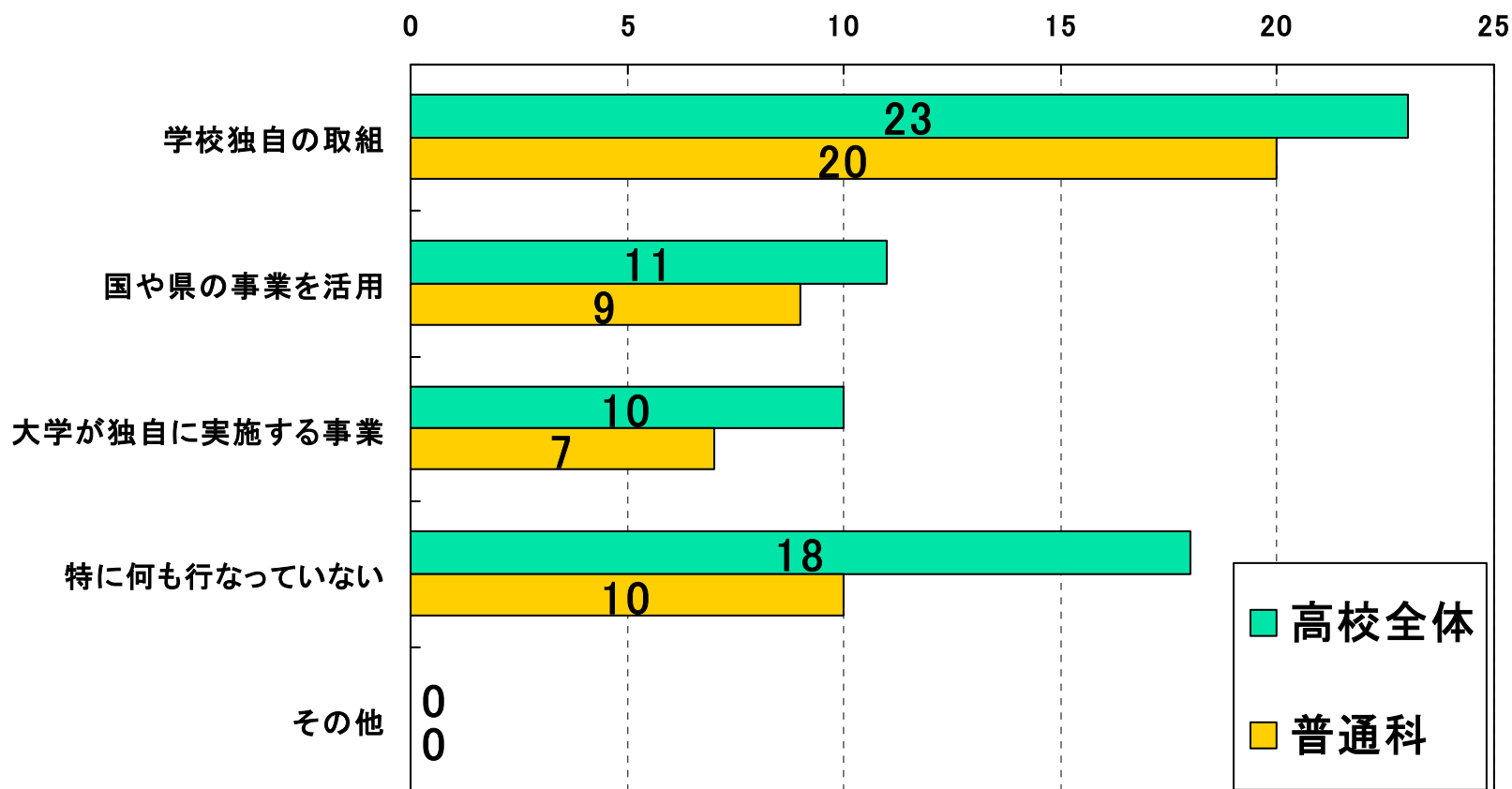
……………回答数13大学



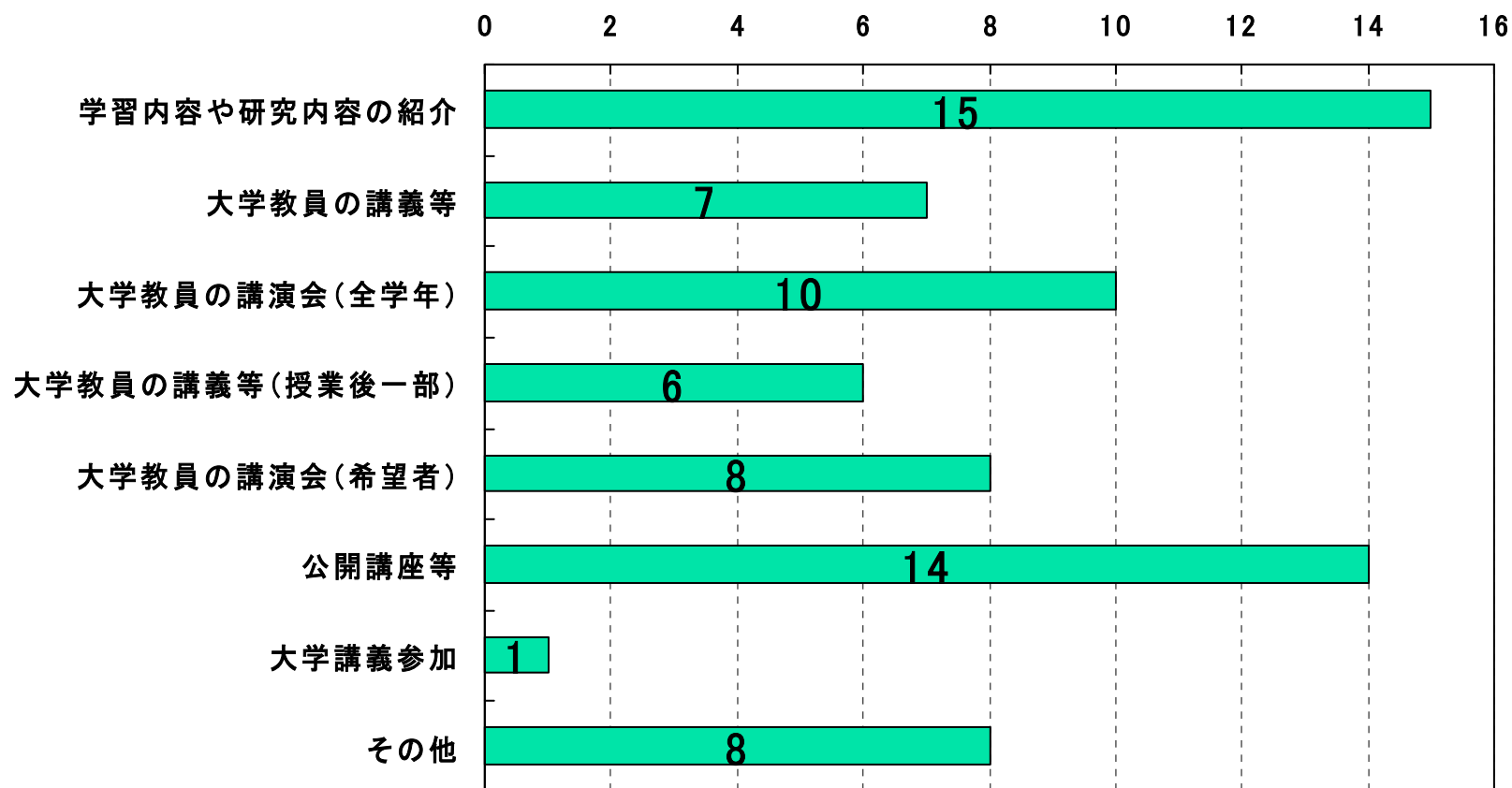
3 調査・研究の結果及び考察

- (1) 高校と大学が直接連携した教育活動の実施状況について
- (2) 高校と大学が連携した取組の具体的内容
- (3) 高校と大学が連携した取組を進めていく上での課題について
- (4) 「あいち・知と技の探究教育特区」事業への要望
- (5) 高校と大学が連携した取組として良かったものとその理由について
- (6) 今後の高校と大学との連携した取組について
- (7) 高校と大学の連携において今後必要なこと

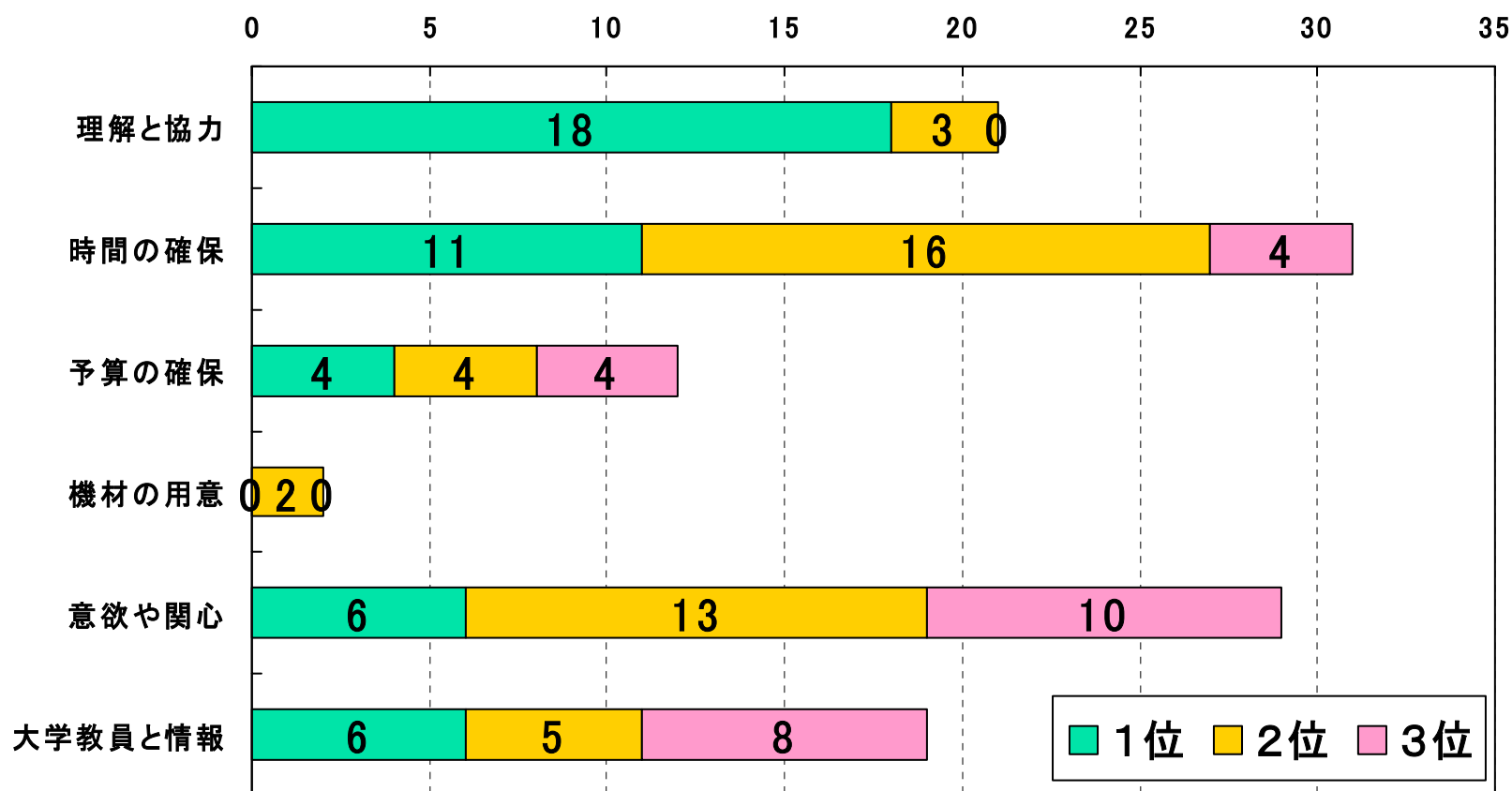
(1) 高校と大学が直接連携した 教育活動の実施状況について



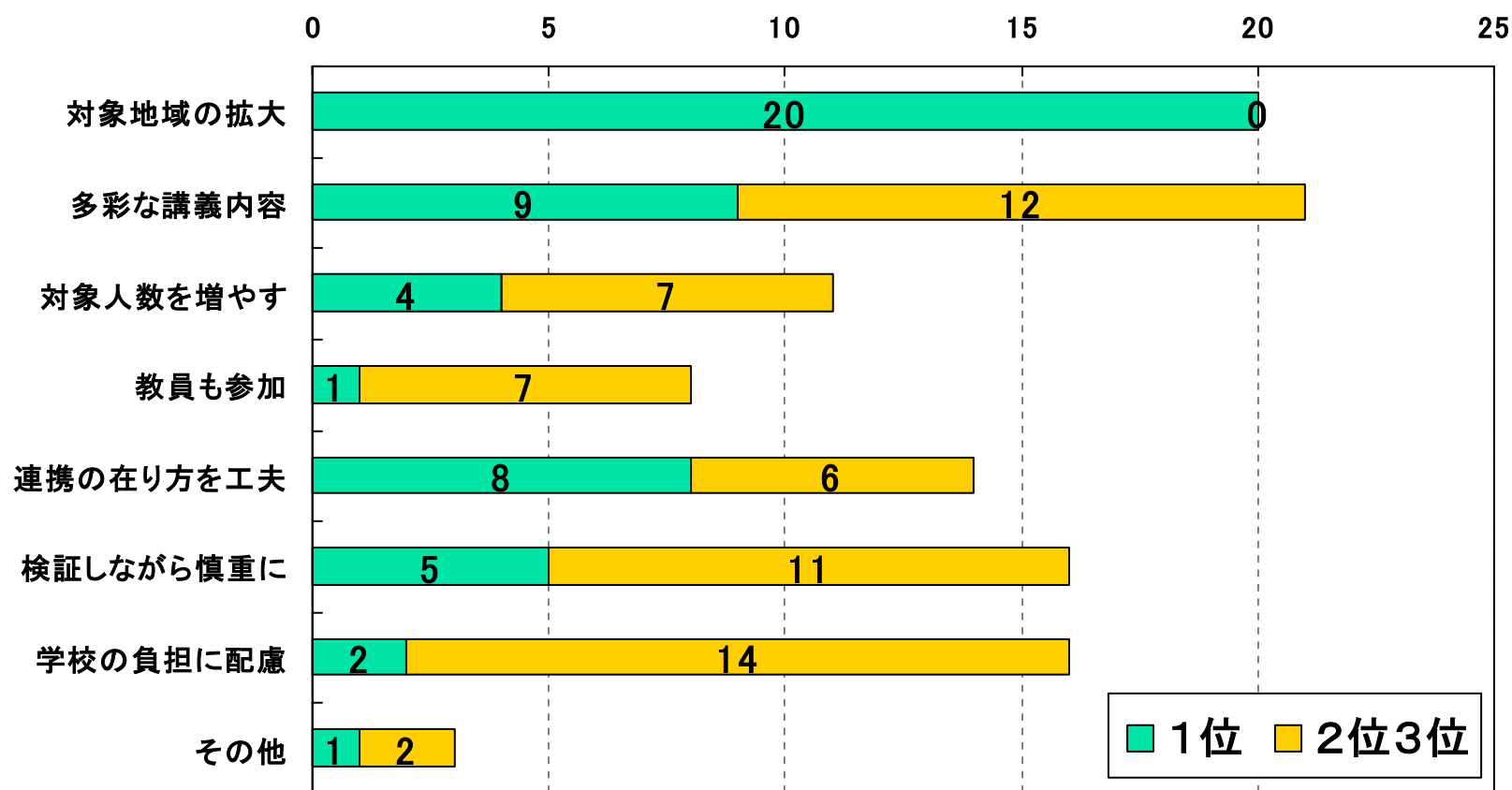
(2) 高校と大学が連携した取組 の具体的な内容

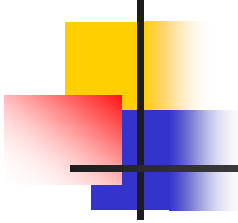


(3) 高校と大学が連携した取組を進めていく上での課題



(4)「あいち・知と技の探究教育 特区」事業への要望

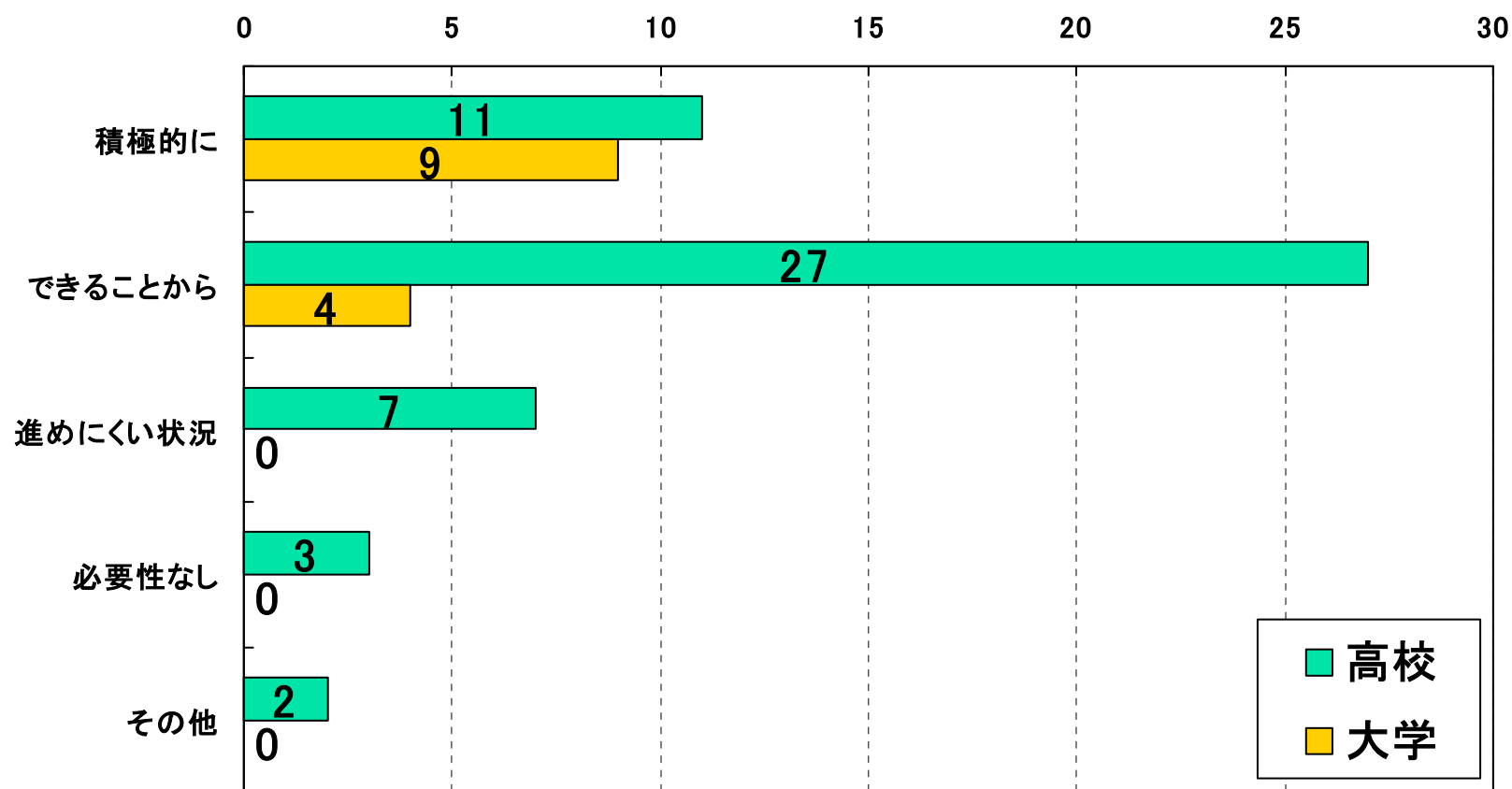




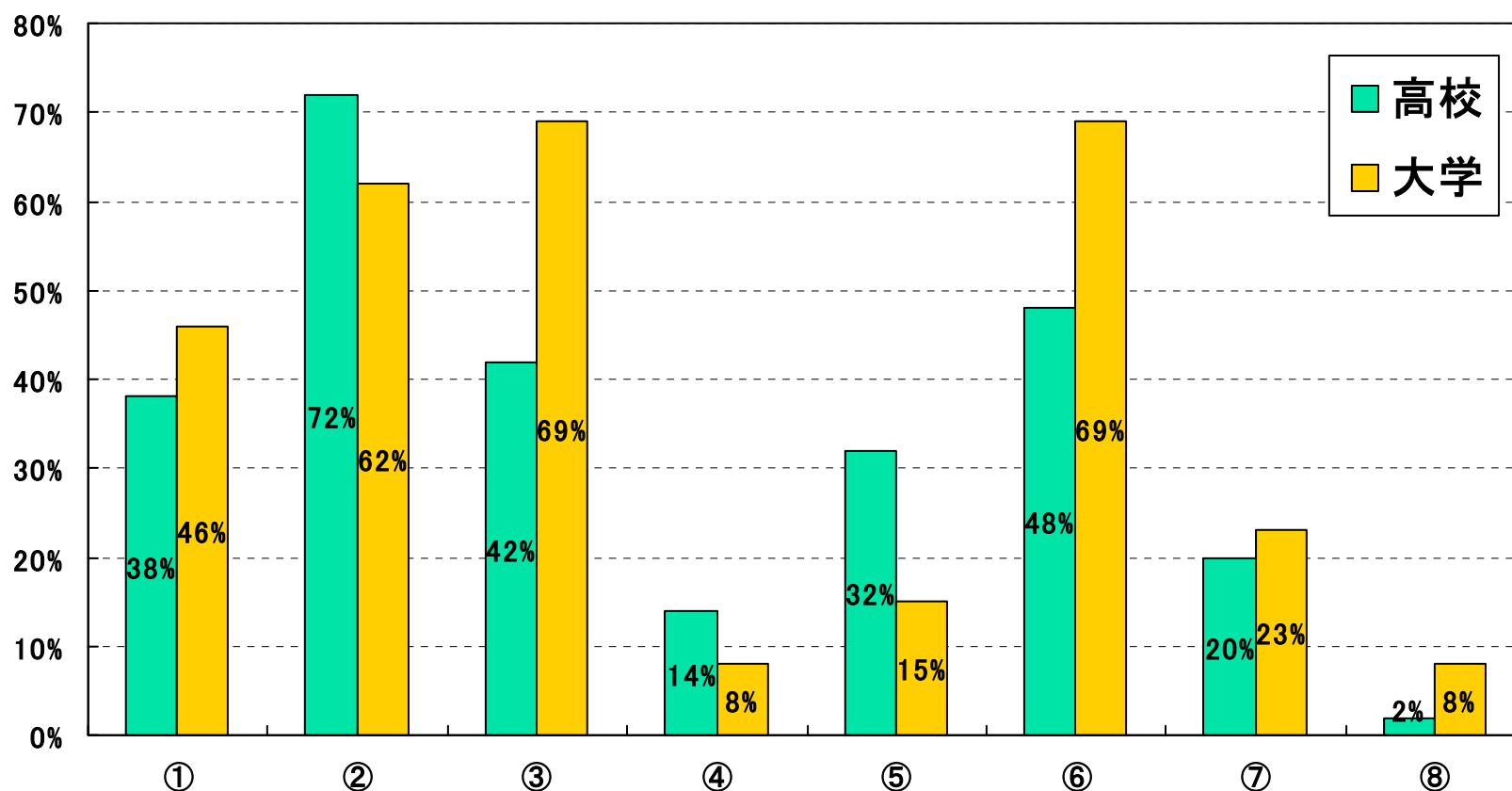
(5) 高校と大学が連携した取組 としてよかったもの

- ① 大学教員による学部・学科の学習(研究)
内容の説明
- ② 大学教員による専門分野に関する講義や
実験・実習の体験
- ③ 生徒・保護者のオープンキャンパスや公開
講座、大学見学会への参加

(6) 今後の高校と大学との連携 した取組



(7) 高校と大学の連携において 今後必要なこと





4 まとめ

- (1) 国や県の進める事業を手がかりとしながら各高校や大学が手探り状態の中で連携の相手を教員の個人的なつながりなどをもとに見つけたり、大学の学生募集の手段としてPRの色彩がより強く出たりといった状況も見られた。
- (2) 県内の大学の協力のもとに多くの高校において実施され、それぞれの狙いに応じた成果を着実に上げつつある。



4 まとめ

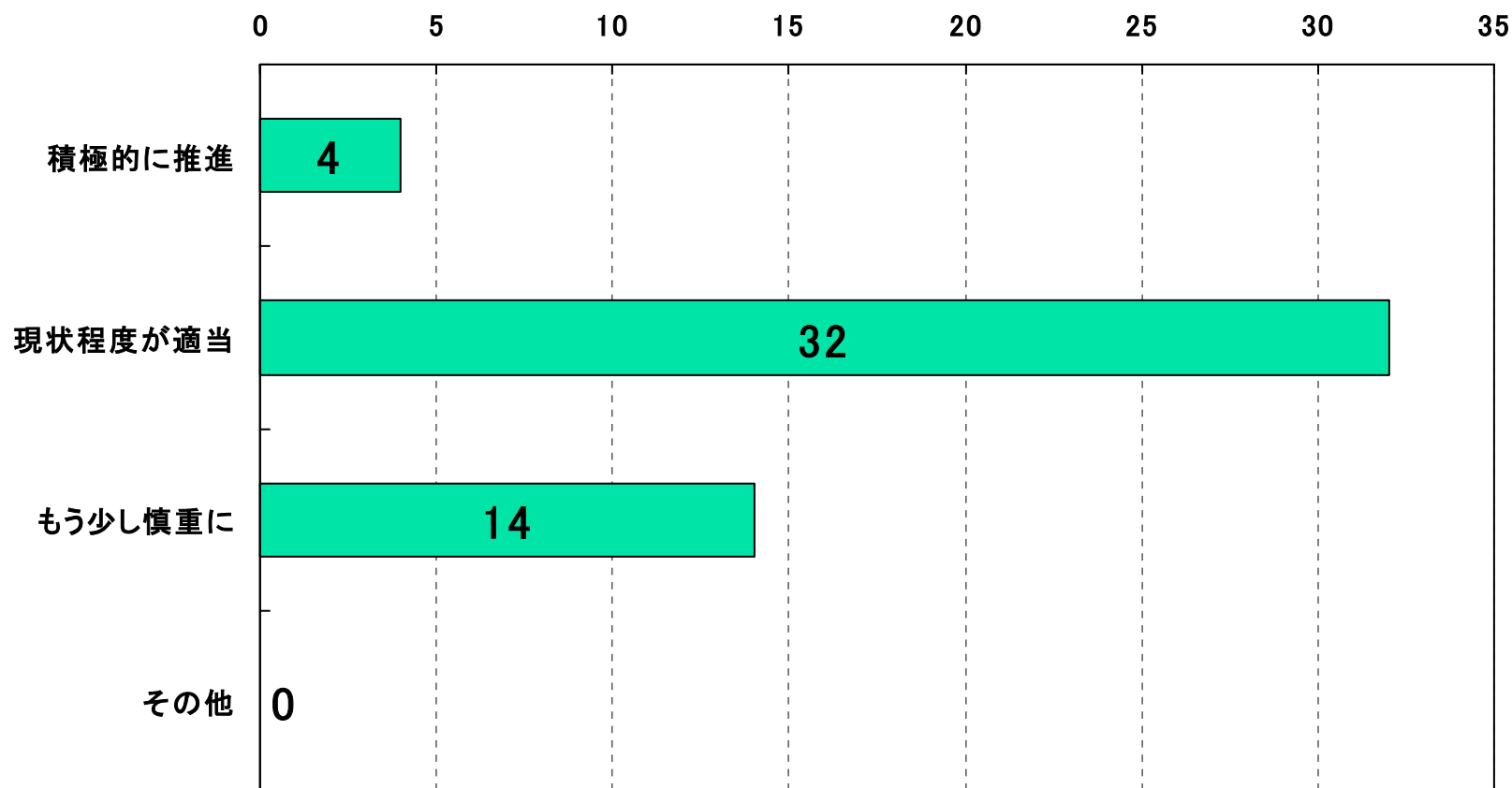
- (3) 高校も大学も今後の連携の取組に対して前向きな姿勢をもっている。
- (4) 高校と大学間の情報交換の場を設けて相互の意思疎通を十分に図りながら、連携の取組が推進できるような環境づくりが早急に進められることが重要。



飛び入学に関するアンケート 結果について

- 1 高等学校から大学への飛び入学制度についてどのように考えているか
- 2 現行の飛び入学制度における課題について

1 高等学校から大学への飛び入学制度について



2 現行の飛び入学制度における課題について

